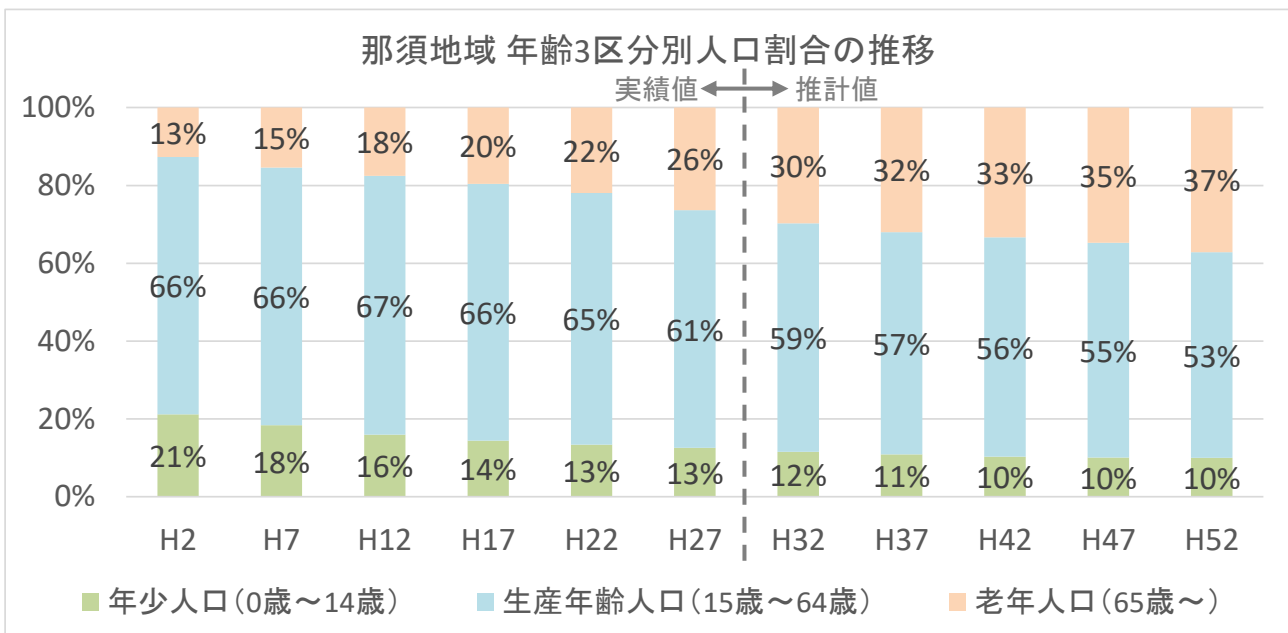
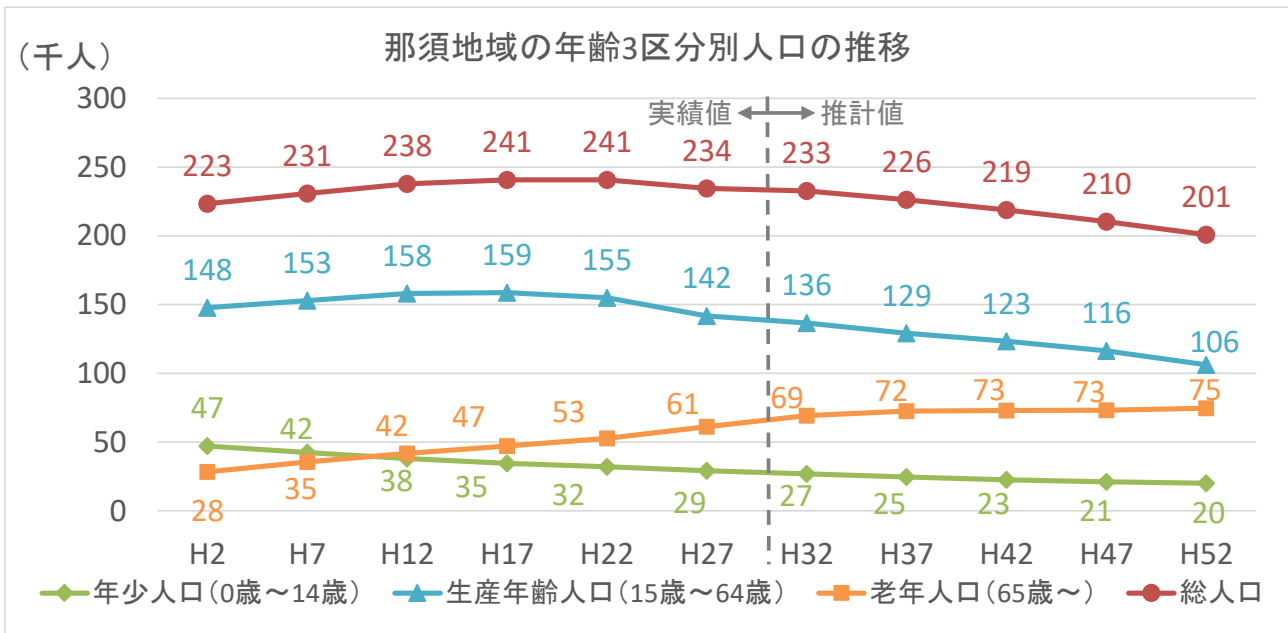


## 2. 地域の概況

### 2.1 圏域人口

- ・ 那須地域定住自立圏の人口は平成 22 年の 24.1 万人をピークに、今後は減少傾向が予測されています。（平成 27 年国勢調査の速報値では 23.4 万人）
- ・ 年齢階層別では今後、年少人口と生産年齢人口の割合が減少し、老年人口の割合が増加する予測となっています。

#### ■ 那須地域定住自立圏内の人口推移



出典：平成 27 年までは国勢調査実績値

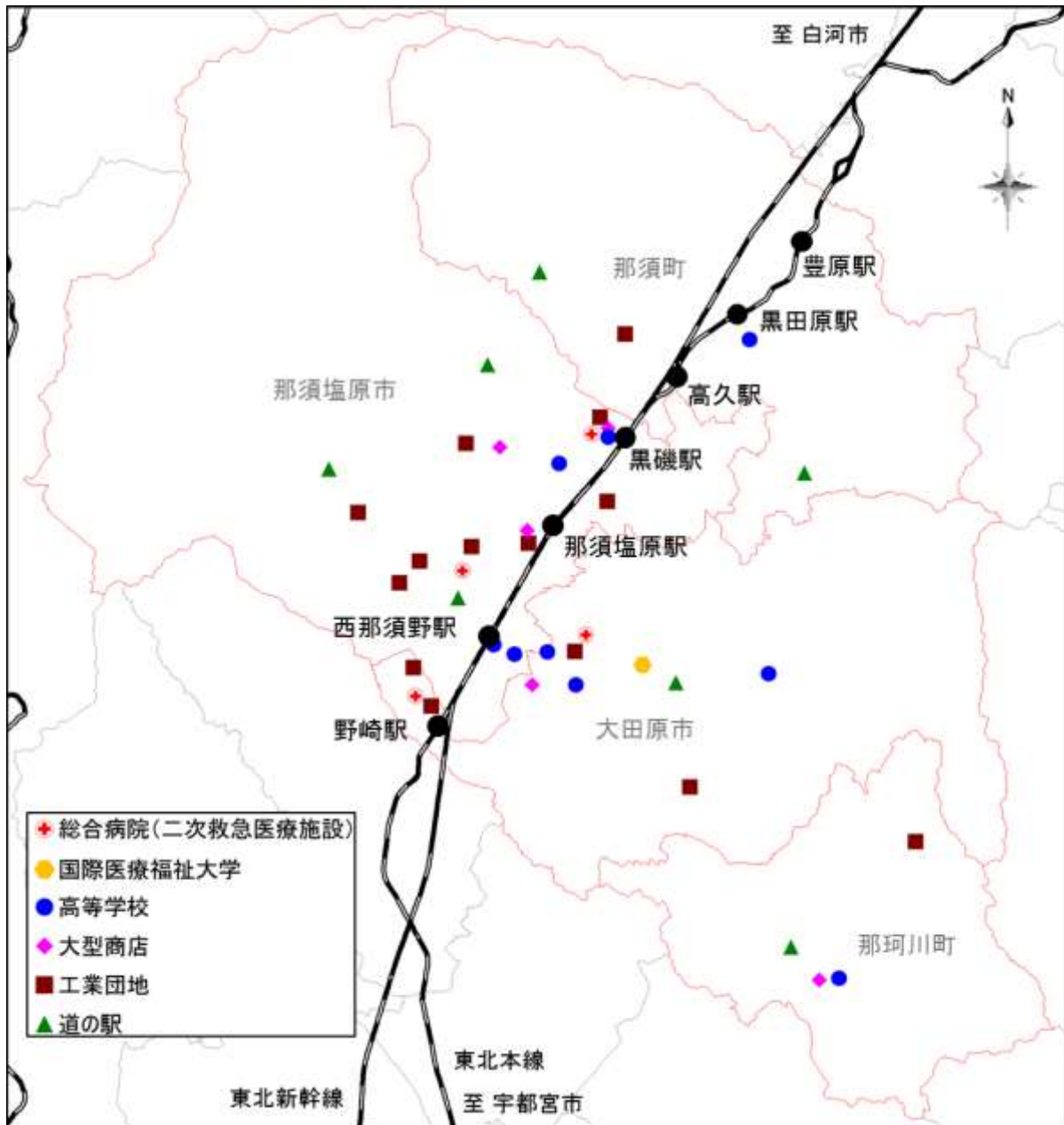
平成 32 年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（H25.3.27 公表）」

## 2.2 施設配置

### (1) 施設の配置

- 那須塩原市と大田原市には各種施設（総合病院（二次救急医療施設）、大学、高等学校、大型商店、工業団地、道の駅）が市内に立地しています。一方で那須町や那珂川町には総合病院（二次救急医療施設）が立地しておらず、他の施設立地も少ない状況です。

■那須地域定住自立圏内 施設位置図



出典

総合病院（二次救急医療施設）：栃木県救急医療圏別救急医療体制

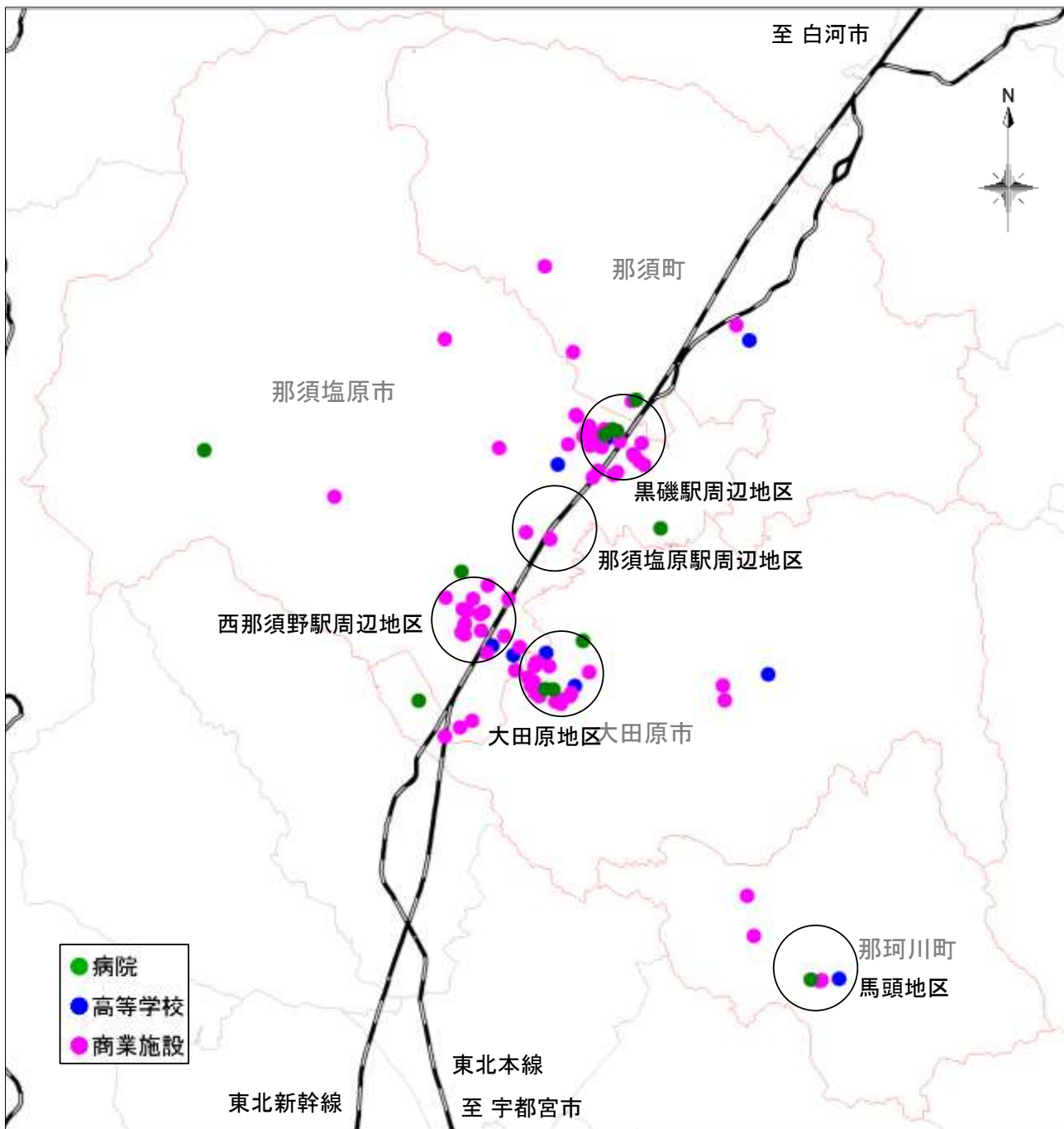
大型商店：（一社）日本ショッピングセンター協会（小売業店舗面積 1,500m<sup>2</sup>以上など）  
全国大型小売店総覧（百貨店）

工業団地：栃木県、各市町

## (2) 定住促進に向けアクセス向上が必要な施設

- 定住促進に向けてアクセス向上が必要な施設として、病院、高等学校、商業施設（※病院と商業施設は各市町の住民アンケート調査結果にて回答のあった施設）の位置を整理しました。
- 那須塩原市では市内の3つの鉄道駅周辺に、大田原市では大田原地区、那珂川町では馬頭地区に多くの施設が立地しています。

### ■主な病院、商業施設、高等学校の位置図



出典：各市町住民アンケート調査結果（通院先・買物先）

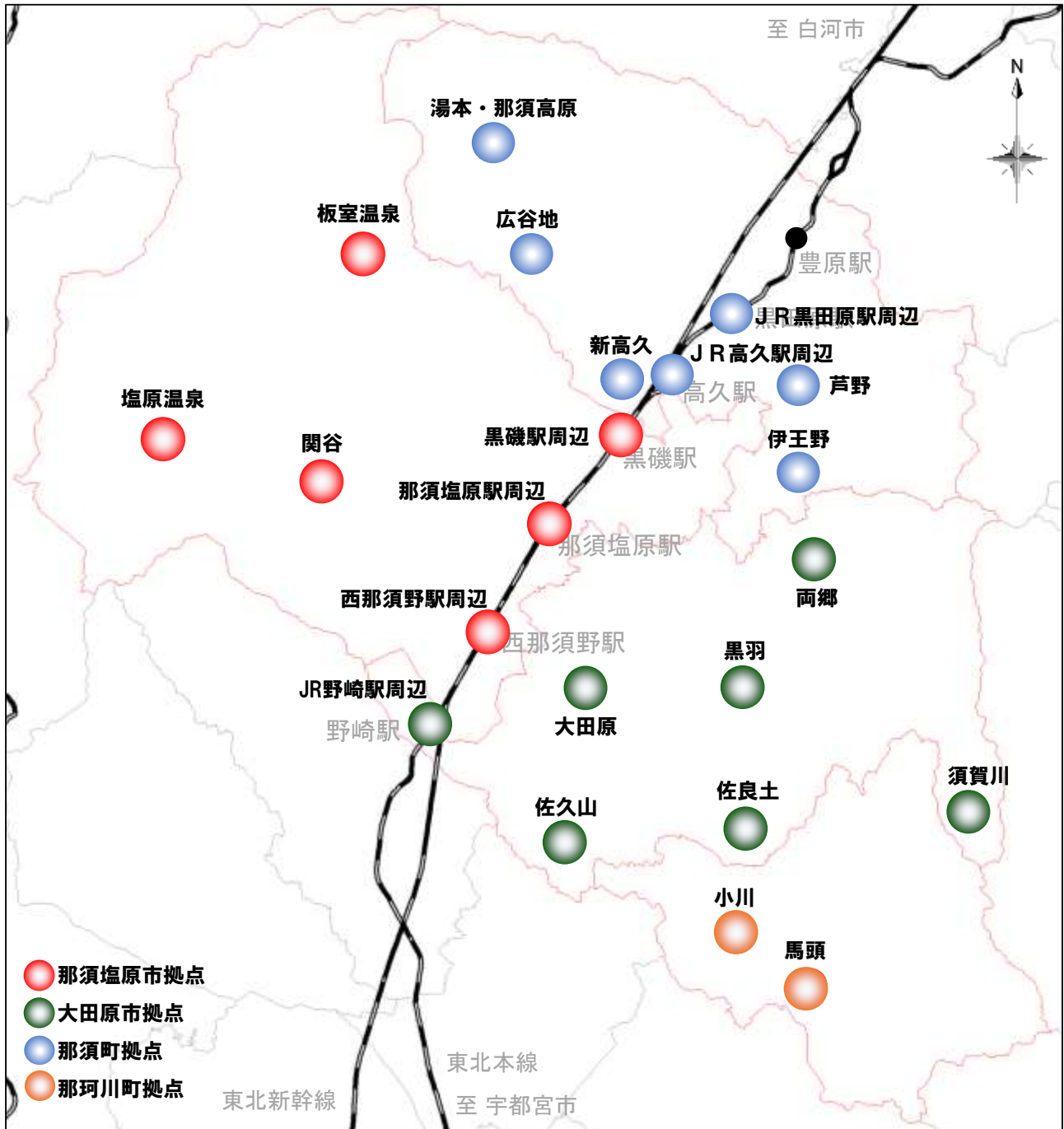
※通院先は病床数が20以上の病院のみを図示

## 2.3 上位計画からみた地域構造

### (1) 上位計画における拠点の位置づけ

- 上位計画より、那須塩原市では6拠点、大田原市と那須町ではそれぞれ7拠点、那珂川町では2拠点が設定されています。

#### ■上位計画における拠点



出典：那須塩原市立地適正化計画、大田原市総合計画、第7次那須町振興計画、那珂川町都市計画マスタープラン

参考) 上位計画における拠点一覧

市町	計画名	位置づけ	拠点名
那須塩原市	那須塩原市立地適正化計画  (策定中 ※都市機能誘導区域については平成 28 年度までに策定済み)	広域拠点	那須塩原駅周辺地区
		地域拠点	黒磯駅周辺地区
		地域拠点	西那須野駅周辺地区
		生活拠点	関谷地区
		観光拠点	塩原温泉地区
		観光拠点	板室温泉地区
大田原市	大田原市総合計画 「おおたわら国造りプラン」  (平成 29 年 3 月策定)	都市核	大田原地区
		都市核	黒羽地区
		都市核	JR 野崎駅周辺
		地域核	佐久山地域
		地域核	佐良土地域
		地域核	両郷地域
		地域核	須賀川地域
那須町	第 7 次那須町振興計画 (平成 28 年 3 月策定)	活力拠点	JR 黒田原駅周辺
		定住拠点	JR 高久駅周辺地区
		定住拠点	新高久地区
		観光拠点	湯本地区・那須高原地区
		観光拠点	芦野地区
		交流拠点	広谷地地区
		交流拠点	伊王野地区
那珂川町	那珂川町都市計画マスタープラン (平成 20 年 3 月策定)	都市拠点エリア	馬頭地区
		都市拠点エリア	小川地区

出典：那須塩原市立地適正化計画、大田原市総合計画、第 7 次那須町振興計画、那珂川町都市計画マスタープラン

